



こだわりを認めて(伝えて)もらえると うれしい

校長 渡邊 正博

6月15日(木)、梅雨の合間をぬって、全校児童61名全員参加の運動会を開催することができました。私の数取器は、開会式後で172、最高は閉会式前で210を示しました。子どもたちの約3.5倍の人数です。ちなみに、この日の学校HPの訪問者は今年度最高の81名でした。地域の方々の子どもたちへの愛情や期待を感じました。ご参観ありがとうございました。



後輩(園児)から大先輩(地域の方々)、保護者や家族が見守る中、子どもたちは全力で、最後まで競技、係の仕事、応援、片付けをやり切りました。5時間目の振り返りでは、目標に向かって努力してきた取り組み中のこと、本番の様子などから発見した仲間や自分の良さを伝え合うことができました。最高の運動会だったと感じています・・・以上は、学校職員としての振り返りです。言ってみれば自己評価です。欲しがり屋の私は、他者評価(例えば保護者から、地域の方から)、外部評価(例えば、今は兼山小に関わりの無い方から)を教えてくださいたいと思います。いろいろな声(考え)を謙虚に受け止め、次に活かしたいと思うのです・・・すると、6月17日の消印で、一通の手紙が学校に届きました。

(前略)児童のみなさんのとても素晴らしい姿に感銘を受けたため、ぜひ、私の気持ちを伝えたいと思い立ち、筆を執りました。1つ目は、エール交換でのゴーゴーゴー・・・何より驚いたのは、その声量です。目を閉じて聴けば、とても全校児童61名、各団約30名とは思えないほどの元気いっぱいの歌声で、本当に圧倒されました。2つ目は、随所で見られた思いやりのある優しい姿。自分のことばかりではなく、しっかりと周りを見て他の子を手助けしたり、他学年の子たちの競技の時にもみんなで応援やダンスなどで盛り立てていたり、あるいは未来の兼山小の仲間となる保育園の子たちが帰る時には、みんなで手を振ってお見送りをしたりと、たくさんの「優しい姿」を発見し、とても心が温かくなりました。3つ目は、係の役目をしっかりと果たそうとする姿。会場を盛り上げるためにどんどん呼びかけをしていた放送係、らんまるタイフーンの引き分けに始まり、際どい勝負が多数あった中で、きっちりときばき切った審判係、競技の準備・片付けをきびきびと動きながらこなしていた器具係、わずか3点差という勝負の得点を正確に計算した得点係と、それぞれが自分の任務に誇りと責任をもって頑張る姿がすごく良いと感じました。もともとは、金管バンドに興味をもったの観覧でしたが、まさかこんなにも立派な姿を見られとは思ってもみなかったもので、可児市に引っ越してきて3か月の私にとって、令和5年6月15日は素晴らしい一日となりました。(中略)今後の兼山小学校に、元気と笑顔が溢れることを心から願って、結びの言葉といたします。

子どもたちがこだわっていることや大切にしていることを初めて来校された方にも感じていただけたことは、とても嬉しく、次へのやる気や自信になります。給食時間に子どもたちに紹介すると笑顔が広がりました。今後も子どもたちへの認め・励まし・勇気づけの声かけをお願いします。